



詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

令和8年(2026年)第6週 2026年2月2日(月)~2026年2月8日(日)



熊本市 感染症発生動向調査 速報

熊本市の

インフルエンザ流行状況 警報レベルです

2026年第6週（2月2日～2月8日）の発生動向調査において、熊本市内の定点医療機関からのインフルエンザ報告数は 1122 件（1定点医療機関当たり 46.75）で、国が定める警報レベルの基準値「30」を越えています。

高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化するリスクが高まります。
マスク着用や、手洗い・うがい等の基本的な感染対策により、感染を予防しましょう。

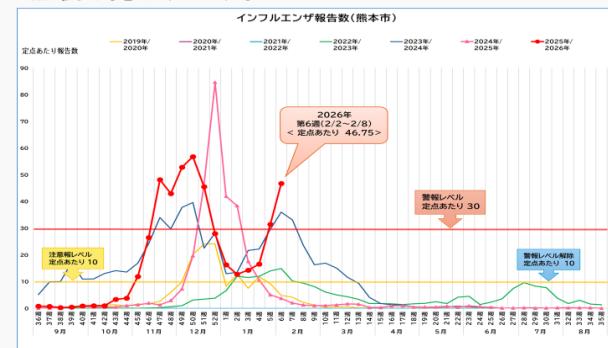
●主な症状●

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

●予防対策●



- ・適度な湿度（50～60%）の保持
- ・十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ・人混み等の混雑した場所への外出を控える



定点種別	疾患名	状況	5週(1/26～2/1)		6週(2/2～2/8)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	○	754	31.42	1122	46.75
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	△	22	0.92	31	1.29
	急性呼吸器感染症(ARI)	△	2239	93.29	2711	112.96
小児科	RSウイルス感染症	△	14	0.93	11	0.73
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	2	0.13	11	0.73
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	53	3.53	45	3.00
	感染性胃腸炎	—	79	5.27	98	6.53
	水痘(みずぼうそう)	—	4	0.27	6	0.40
	手足口病	—	6	0.40	10	0.67
	伝染性紅斑(りんご病)	—	15	1.00	15	1.00
	突発性発しん	△	7	0.47	12	0.80
	ヘルパンギーナ	—	1	0.07	1	0.07
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	1	0.07	1	0.07
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	2	0.40	3	0.60
基幹	細菌性髄膜炎	△	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	△	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	△	0	0.00	1	0.20
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	△	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(口タウイルス)	△	0	0.00	1	0.20

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし